

製品名: TCP1 eta ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87834**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:59 kDa; Observed MW:59 kDa

抗原情報

遺伝子名	TCP1 eta
別名	CCTH; CCTETA; NIP7-1; TCP1ETA
遺伝子ID	10574
SwissProt ID	Q99832
免疫原	ヒトTCP1 イータの合成ペプチド

背景

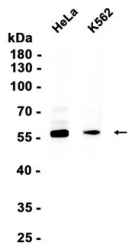
この遺伝子は、TCP1 リング複合体 (TRiC) としても知られる、シャペロニン含有 TCP1 複合体 (CCT) を構成する分子シャペロンを

コードしています。この複合体は、2つの同一のリングが積み重なった構造で、それぞれに8種類のタンパク質が含まれています。未折り畳み状態のポリペプチドは複合体の中央の空洞に入り、ATP 依存的に折り畳まれます。この複合体は、アクチンやチューブリンを含む様々なタンパク質を折り畳みます。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する偽遺伝子が5番染色体と6番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2009年10月]

研究分野

-

画像データ



TCP1 eta ウサギモノクローナル抗体を 1:10000 で使用して、HeLa、K562 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。